



# 米国大学における 学修成果の可視化について

山形大学 学術研究院 教授 (IR担当)

藤原 宏司

[kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp](mailto:kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp)

2019.7.25

# 自己紹介

---

## [略歴]

- ミネソタ州立大学モアヘッド校卒業  
(B.A. in Mathematics)
- ノースダコタ州立大学大学院修了  
(M.S. in Applied Statistics, Ph.D. in Statistics)
- フロリダ州立大学大学院 IR履修証明プログラム修了  
(Graduate Certificate in Institutional Research)
  
- ノースダコタ州立大学統計解析センター  
(Statistical Consultant as RA)
- ミネソタ大学医学部/Duluth Medical Research Institute  
(Junior Scientist/Lab Statistician)
- ベミジ州立大学・ノースウェスト技術短期大学IR/IEオフィス\*  
(Institutional Research Analyst → Assistant Director)

**2016年7月帰国、同年8月より現職**

次世代形成評価・開発機構IR部門 (OIRE\*) 担当

---

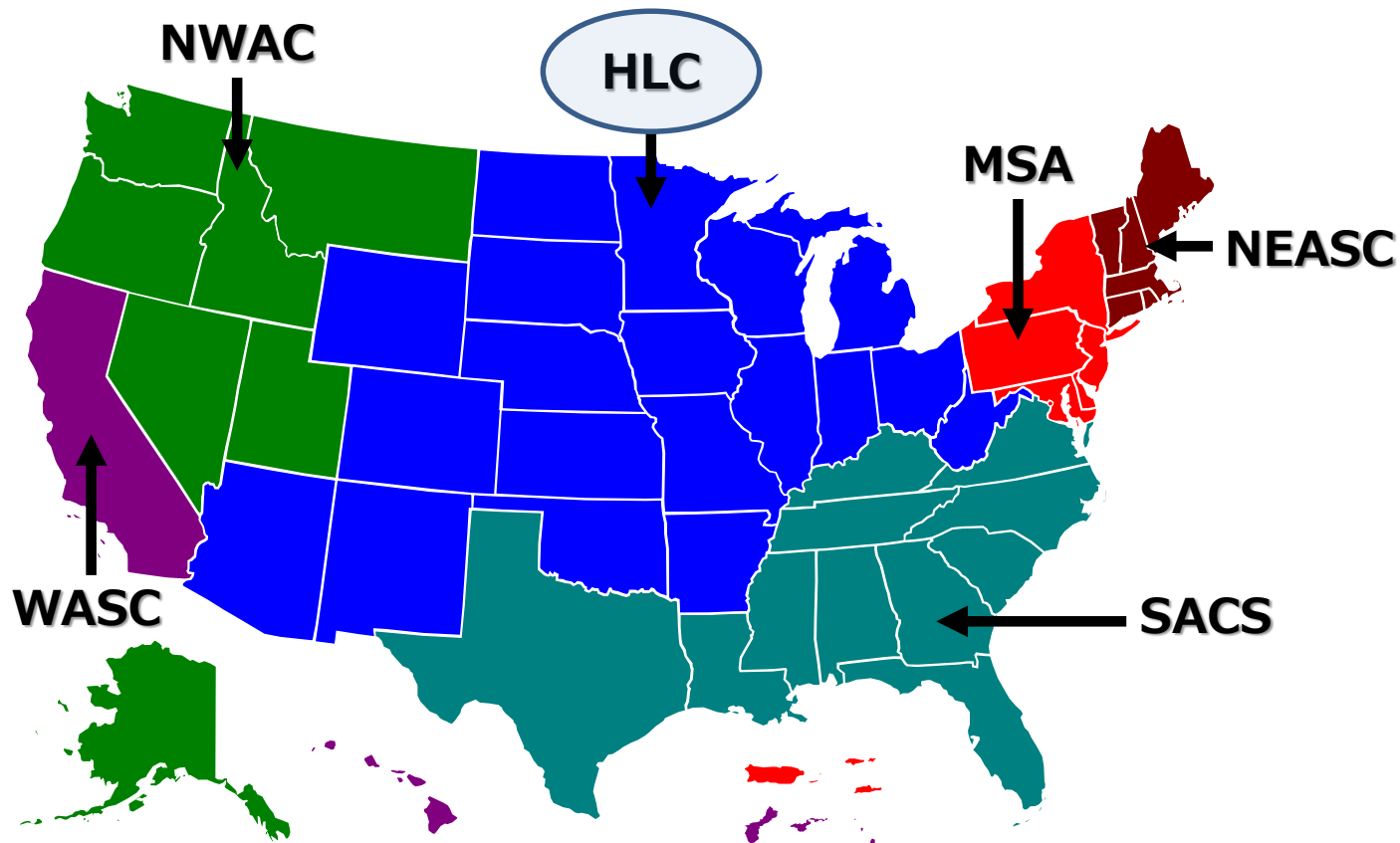
\*OIRE: Office of Institutional Research & Effectiveness

# 今日の内容

---

1. 米国における認証評価
2. HLC : 教育分野における質保証
3. Closing the Loop
4. 教育改善プロセスにおけるIRの役割
5. まとめ

# 米国における地域認証評価機関



- 上記機関は、**CHEA**および**USDE**から認定を受けている
- 各機関における**大学の認証評価基準**は、**ほぼ同じ**（表現の違い程度）
- 大学は、認定を受ける機関を選択することが**できない**

# HLCの評価基準

## ■ HLCの評価基準\* :

- 大項目 (Criterion) : 5
- 中項目 (Core Components) : 21
- 小項目 (Items) : 68

これら全ての項目を満たす必要がある。  
(根拠資料を示す必要も)

例 : Instructors are accessible for student inquiry. [3C5]



「学生へのアンケート」や「教員からの聞き取り調査」等の結果を用いて、上記項目が満たされていることを証明する。

# アセスメント (assessment) とは

- 大学における**諸活動の効果検証 (測定)** をすること
  - a. 教育
  - b. 研究
  - c. 社会貢献
  - d. 大学経営
  - e. 学科経営など
- 米国：対象ごとに異なるアセスメントの名称

アセスメントの対象	アセスメントの名称
学生	アセスメント
学部・学科（主に学科）	プログラム・レビュー
大学全体	Institutional Effectiveness (IE)

- アセスメント **C** プログラム・レビュー **C** IE

# HLC : 教育分野の質保証に関連する評価基準

## ■ Criterion 4. Teaching and Learning: Evaluation and Improvement

趣旨 : The institution demonstrates **responsibility for the quality of its educational programs**, learning environments, and support services, and it **evaluates their effectiveness for student learning** through processes designed to promote continuous improvement.

### 内容（意識） :

- ① 大学は、提供している教育プログラム、学習環境およびそれらをサポートするサービスの**質を保証**する。
- ② 大学は、**継続的改善**を目的とした**評価プロセス**を構築し、**教育効果の検証**を行なう。→ **学修成果の可視化**

# HLC : 教育分野の質保証 (英語ばかりでスミマセン)

---

- 4.A. The institution demonstrates **responsibility for the quality of its educational programs**.
  1. The institution maintains a practice of **regular program reviews**.
  
- 4.B. The institution demonstrates a commitment to **educational achievement and improvement through ongoing assessment of student learning**.
  1. The institution has **clearly** stated **goals for student learning** and **effective processes for assessment** of student learning and achievement of learning goals.
  
  3. The institution **uses the information** gained from **assessment** to **improve student learning**.
  
  4. The institution's **processes and methodologies to assess student learning** reflect good practice, including the **substantial participation of faculty** and other instructional staff members.



# HLC : 教育分野の質保証 (2)

大学は、教育プログラムの質を保証する義務がある

そのためには、以下の2点が重要

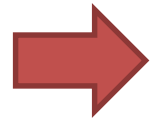
- ① 学生の学びに対する効果検証（アセスメント）を  
教員が中心となって継続的に実施する
  - ② アセスメントの結果を、教育改善に利用する  
（PDCAサイクルのAの部分）
- 効果的なアセスメントのためには：  
明確な教育目標を定める必要がある

注意：「教育改善を成功させなさい」とは書いていません

# HLC : 何を求めているのか

---

- **Criterion 5. Resources, Planning, and Institutional Effectiveness**
  - **5.D. The institution works systematically to improve its performance.**
    1. The institution **develops and documents** evidence of **performance** in its operations.
    2. The institution **learns from its operational experience** and **applies that learning to improve** its institutional effectiveness...



- 継続的改善プロセスを機能させる
- 指標策定 & 改善活動の文章化
- 継続的改善プロセスの循環化

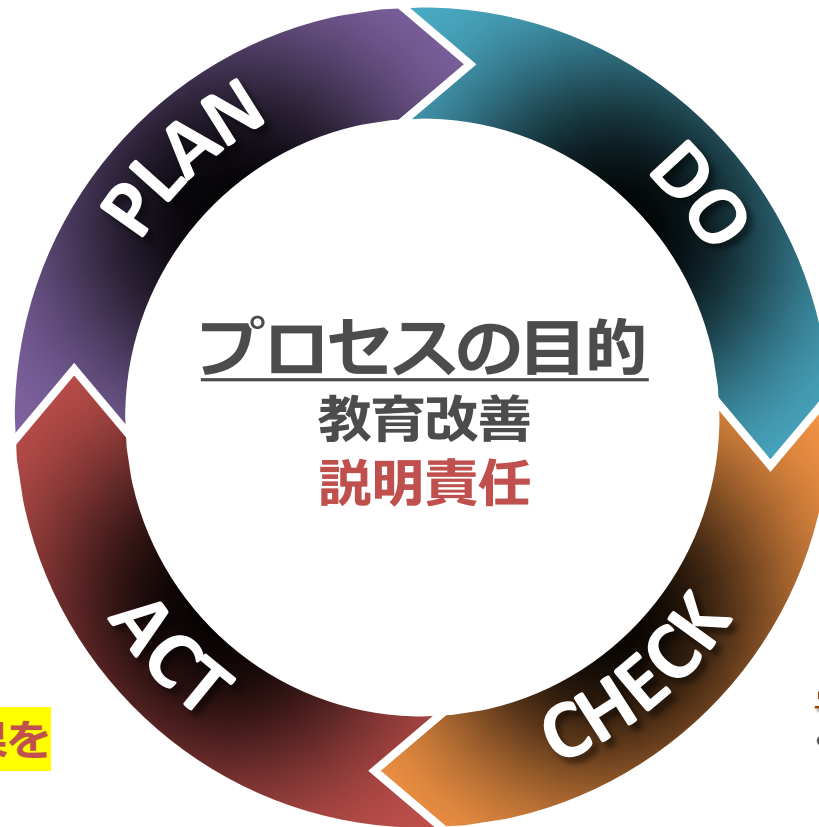
# 教育改善の循環プロセス

## 1. PLAN

- 教育目標の明確化
  - ・ 科目レベル
  - ・ 教育プログラム
- アセスメント計画の構築

## 2. DO

- 教育



## 4. ACT

- アセスメントの結果を教育改善に活かす

## 3. CHECK

- アセスメントの実施
  - ・ 直接／間接指標
- 分析&情報提供

"Closing the Loop"

# “Closing the Loop”が困難な理由（1）

## 1. 「教育目標」関連

- a. 曖昧
- b. 学修成果の測定（効果検証）が困難

**例：**修得した知識・技術を様々な場面で活かすことができる

### 問題点：

- I. 「修得した知識・技術」って何？
- II. 「様々な場面」って何？
- III. 「活かす」ってどういう意味？



**効果検証を考慮しながら、  
教育目標を設定する必要がある**

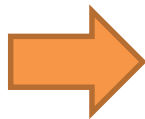
**改善例：**事実とフィクションを正しく区別し、  
複数の視点から歴史について議論することができる

# “Closing the Loop”が困難な理由（2）

## 2. 「アセスメント」関連

- a. **直接指標**を用いたアセスメントへの流れ  
**（一般教養課程および教育プログラムレベルは必須）**

直接指標 (Direct Indicators of Learning)	間接指標 (Indirect Indicators of Learning)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業論文（プロジェクト）分析</li> <li>・ 外部試験</li> <li>・ 事前事後試験データ分析</li> <li>・ 外部評価</li> <li>・ 資格試験合格率</li> <li>・ ポートフォリオ分析</li> <li>・ ルーブリック分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生調査（実態調査、満足度調査等）</li> <li>・ 卒業生／同窓生調査</li> <li>・ インタビュー（個人／グループ）</li> <li>・ 卒業率</li> <li>・ 就職率</li> <li>・ 成績／GPA</li> <li>・ シラバス分析</li> </ul>
} <b>教員</b>	} <b>IR</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通問題を用いたアセスメント (Course-embedded Assessment)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラム分析（マッピング） ← <b>Program Review に必要</b></li> </ul>
<b>Show</b> what students have learned	<b>Tell</b> what students have learned

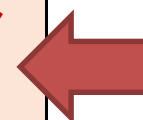


**Program Review  
に必要**

# 教育改善プロセスにおけるIRの役割

## 例：教育プログラムの改善プロセス

PDCA	プロセス	責任の所在	IRの関わり
PLAN	・教育目標の明確化	・教育プログラム担当学科	・ <b>コンサルテーション</b>
	・アセスメント計画の構築 (直接/間接指標)		
DO	・教育	・教育プログラム担当学科	N/A
CHECK	・アセスメントの実施 (直接/間接指標)	・教育プログラム担当学科 ・ <b>IRオフィス</b>	・ <b>進捗状況チェック</b>
	・データ分析&情報提供	・ <b>IRオフィス</b> ・教育プログラム担当学科 (必要に応じて)	・ <b>実施主体</b>
ACT	・アセスメントの結果を 教育改善に活用する	・教育プログラム担当学科	・ <b>文章化サポート</b>



重要

- ・ 「科目」改善の場合は、教育プログラム担当学科 → 科目担当教員
- ・ **大学執行部、学部執行部からのサポートが必要**

# まとめ

- 米国では、**大学の諸活動における効果測定を行い、エビデンスを用いて社会への説明責任を果たすことが**大学に求められる**使命**となっている
- IRは、**データ提供**や**コンサルテーション**を通じて、**継続的改善を「支援」**している。
  - 改善の**主役**は、**「執行部、学科、学部、担当部署」**  
(**IRは脇役**：餅は餅屋)
  - 効果的かつ効率的なデータ提供を行うため、**米国大学のIRオフィスには、学内データへの広範囲なアクセス権**が与えられている。

# THANK YOU!

## ANY QUESTIONS, COMMENTS OR SUGGESTIONS?

---

藤原 宏司 | Koji Fujiwara, Ph.D.

[kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp](mailto:kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp)

